



(公社)愛知県栄養士会 在宅医療・介護委員会の取り組みのご紹介

在宅医療・介護委員会では、地域の高齢者や在宅療養者が健康でいきいきと自宅での生活を送ることができるための食事や栄養管理について様々な取り組みを行っています。

とくに、疾患や介護状態が悪化しないための「重度化の予防」や健康で長生きできるための「介護予防」が重要視されています。健康寿命を延伸するために、食事や栄養管理について、かかりつけの栄養士として活動しませんか？

訪問による食事相談への対応 ※在宅専門の管理栄養士を育成しています

訪問の相談事例

- ・食材を何を購入してよいかわからない（糖尿病の利用者さま）
- ・腎臓食の食事の指導を受けたが、実際に食事をどのようにすればよいかわからない（腎臓病の利用者さま）
- ・嚥下機能が低下して、食事が飲み込みにくくなってきたが、何か口から本人が好きだったものを食べさせてあげたい（嚥下調整食が必要な利用者さま）



食事と栄養のアセスメント

- ・身体計測などから栄養状態の評価を行います
- ・食事摂取状況から摂取量の評価を行います
- ・食品などへのアクセス・環境などからみた食事や栄養のアセスメントを行います

食事や栄養介入 例

- 例1)ヘルパーさんや利用者さんへの食材の購入方法についてアドバイス
- 例2)腎臓病に対応したたんぱく源の小分け方法などを提案
- 例3)とろみの付け方や嚥下調整食や食事の作り方のアドバイス
- 例4)栄養状態の評価結果に基づく適切な食事摂取方法の提案
- 例5)介護用食品の選択方法の提案

地域のケア会議への参加



地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法です。さまざまな地域の困難事例に対し、自立に向けて具体的な食事や栄養面の意見を求められます。



介護予防教室や疾患に対応した講演講師・料理教室の講師

地域包括支援センターや公民館などが主催する介護予防教室や介護者向け料理教室、訪問介護士さん向けの料理教室などの支援を行っています。講義は、わかりやすく、クイズなども取り入れながら、楽しく参加して頂けるように工夫します。



クイズ形式の講演



料理教室

認知症カフェなどのメニュー提案・カフェや教室の運営ご提案

地域とのつながりや認知症についての情報交換ができる場づくりの提案等を行います。認知症の高齢者が自由に過ごせる「認知症カフェ」や配食サービスを利用した共食の場が注目を集めています。とくに認知症カフェは、利用者を限定していませんので、認知症の方と介護者である家族はもちろんですが、介護・医療に携わる専門職である栄養士や管理栄養士がカフェの提案や地域の住民へ食事や栄養の話をします。



認知症カフェメニュー



在宅医療・介護委員会

是非一緒に活動しましょう